

校長室通信 6/20 27号

情報モラル

6月15日(日)～21日(土)までの教育週間に子供たちの授業を参観に来ていただきありがとうございました。水泳の授業参観に、「神の島プール」までお越しいただいたご家庭もたくさんあり、大変ありがたく思いました。また、各学級の授業参観にご家族の方々にもたくさん来校していただき、子供たちもいつも以上に頑張っていました。

さて、教育週間中には「情報モラルの学びを通して、相手の立場に立った言動などを大切にできる心情を育むこと」についても取り組みました。長崎市PTA連合会も携帯電話等については、「持たせる、持たせないは親の責任」といっています。本校でもライン等で友人関係のトラブルもあっています。SNSに年齢制限があるのはご存じでしょうか。精神的にまだまだ未熟で成長段階にある子供たちには、不特定多数の相手と簡単に接触できるSNSの使用は適切ではないからでしょう。次に紹介します。

LINE	推奨 12歳以上(保護者の許可で利用可能)	X 旧 Twitter	13歳以上(2017年3月25日に変更済み)
Instagram	13歳以上	facebook	13歳以上
YouTube	アカウント作成は13歳以上	TikTok	13歳以上

管理は保護者が責任をもってやるのが大切です。「プライバシーだから見せない!」と言われても「親の責任で使わせています!」とはっきり言えるのでしょうか。

スマホ依存の診断基準

最近、ゲーム依存により前頭前野の機能低下、ゲーム刺激に対する前頭前野の強い反応、線条体のドーパミン受容体の減少などの影響が出ることもわかっています。前頭前野は理性をつかさどるところであり、この機能が低下することで衝動のコントロールが弱くなります。また、ゲーム刺激に前頭前野が強い反応をもつと、刺激に抑えきれない欲求が生じることとなります。さらに線条体のドーパミン受容体が減少すると、満足感を感じる事が困難になってしまいます。これらの脳の変化は、ギャンブル依存やアルコール依存でも同様に認められており、スマホ依存はギャンブル依存とほとんどかわらないともいえます。そこで、スマホ依存の診断を参考に掲載します。子供たちの様子と重ねてみてください。

- ① 食事中にスマホを見ていることが多い
- ② 友達と一緒にいてもずっとスマホを見ている
- ③ 会議や宴会中などでもSNSが気になり、スマホを見ってしまう
- ④ もしSNSがなかったら、人間関係がなくなると感じる
- ⑤ SNSに書き込むネタを作るために行動することがある
- ⑥ 自転車に乗りながらスマホを見ている
- ⑦ TPOに関わらず、無意識にタッチパネルを触っている
- ⑧ 電車の乗り換えの時もスマホを見ている
- ⑨ トイレの中にもスマホを持っていく
- ⑩ スマホを握ったまま眠ってしまうことがある
- ⑪ 財布を忘れていてもスマホだけを持っていることがある
- ⑫ 着信していないのに、スマホが振動した錯覚に陥る
- ⑬ 分からないことはすぐスマホで調べる
- ⑭ スマホを忘れてしまった日はとても不安だ
- ⑮ 朝起きてすぐにニュースやSNSをチェックする
- ⑯ スマホの充電器を忘れるとつい買ってしまおうのでいくつも予備を持っている
- ⑰ 電話よりメール(ライン)の方が、意思が伝わる

1～5個＝予備軍、6～10個＝軽症、
11～15個＝重症、16個以上＝依存症